

第五次白石市総合計画策定について

水落孝子

〔質問〕第五次総合計画を策定中ですが次の事を伺う。

①第四次総合計画実施後の現状と課題。②その上で今後10年間の見通し。③今後10年間の計画の中で、喫緊の課題・優先順位の高い課題は何か。

④市民参加によるまちづくりを進めるうえで、「まちづくり条例」「市民参加基本条例」

等の制定についての考え。⑤計画策定を外注ではなく、市民が主役の計画策定・活動参加の市政運営について。

【その他の質問】

○住宅リフォーム助成制度の創設について

○平和市長会議と平和教育について

「実効性のある改善計画」の議会への説明について

沼倉昭仁

〔質問〕風間市長は今年2月議会の中で、①6月までに刈田病院の実効性のある改善計画を議会に提出する。②今後、赤字補てんが生じる場合、事前にその原因と改善策を議会に提出する。と、刈田病院の赤字を圧縮する「実効性のある計画」を6月までに議会

に提出すると「約束」した。宮城県の「地域医療再生計画」など仙南医療圏を取り巻く医療事情が大きく変動する中で、旧来の「改革プラン」をどのように総括し、修正したのか。議会への「説明」を求める。

〔答弁〕【市長】①人口問題

の現状は、人口減少社会と少子高齢社会が進展しており、少子化対策と高齢者対策が課題である。産業・経済の現状は低迷であり、雇用の場の創出が課題である。生活基盤は市域の3分の2が森林であり、自然環境と経済活動が調和し、共存できる社会の構築が課題である。行財政運営の現状は人口減少また景気の低迷により、税収の減少及び国の三位一体改革による地方交付税の削減等の影響を受け、市の予算規模が年々減少しており、課題は限られた財源を効果的に活用していくことで、地域力の低下を食い止め、市民活動の活性化と支援体制の構築、諸団体との協働の推進である。

②③雇用の確保・地域医療の充実・交流拠点都市づくりである。④市民参加の白石デザイン会議を一過性で終わらせないよう市民の意識改革に努める。⑤回会議を受けて、市内9地区での地域デザイン会議で「まちづくり宣言」を目指す。

〔答弁〕【市長】最初に、日程調整がつかず、今議会に提出できなかったこと、本当に大変ご迷惑をおかけしたと思っている。どうかご理解をいただきたい。

実効性のあるものをつくりたいということを念頭に置いて作業を行っており、まずは改革プランの評価委員会において審議をし、了承を得て、そして、白石市外二町組合議会全員協議会で説明した後、説明をさせていただきたいと思っている。

※公立刈田総合病院改革プラン（改定版）については、平成22年7月7日、白石市議会全員協議会で説明がされました。



刈田病院の外観



刈田病院の受付



白石デザイン会議の様子